THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

YMCA サービス･ユース事業通信　第4号

2015年10月31日発行
2015～2016　YMCA サービス･ユース事業主任
河合久美子（京都ウエストクラブ）

事業主題：

今こそ　Ｙサカ　アップ！

～YMCA とともに　ユースとともに　確かな未来を～

西日本区の皆様、こんにちは。先般、アジアユースコンボケーション（ＡＹＣ）西日本区報告会を開催いたしましたところ、多くの方にご参加いただきまして、ありがとうございました。改めてユースの可能性は無限であることを感じることのできた機会でした。今後順次、西日本区では、各部でＹＹ（Ｙ）フォーラムも実施されていきます。各地の部会の様子と合わせて、ご報告させていただきます。

◎2015 アジアユースコンボケーション（AYC）西日本区報告会開催

10 月 25 日（日）、ホテルクライトン新大阪において、「2015 アジアユースコンボケーション（AYC）西日本区報告会」を開催いたしました。報告者は、今夏、AYC 京都に西日本区から参加した１７名のユースのうちの６名です。ユースが様々な国の同世代の人々と５日間にわたり、寝食を共にしながらディスカッションしたり、ワークショップを行ったり、親睦を深めたりしたことの体験や想い、感動が自らの言葉で熱く生き生きと語られました。ＡＹＣ開催に至るまでの企画･準備の内容や、終了後のアクションプランへの取組みについても報告されました。「英語力をもっと高めたい」「発表が苦手だったが、良い経験となった」「ワイズとの関わりがもてた」「平和や異文化理解について知る機会となった」「色々な考えを持つ人と話すことができた」「大人との繋がりや支援を感じて感謝の気持ちを持てた」など、ＡＹＣに参加することにより得られた自己の成長や気付きは意義深く、ユースの今後に活かされ、社会を変革していく力となるのではと感じた次第でした。

今後是非、各部･各クラブにおいても、ユースを招いて報告会を開催していただき、多くの方に彼ら彼女らの熱き想いを感じていただくことができれば幸いです。当日配布いたしましたＡＹＣ報告書は、とても読み応えのあるものです。西日本区のホームページの資料庫からダウンロードができますので、どうぞご覧下さい。報告会のワイズメンの参加者は 51 名、多くの方にお越しいただき感謝いたします。

前期において AYC に向けてユースの募集に尽力されました藤本義隆直前主任、京都キャピタルクラブをはじめとする AYC 実行委員会の皆様、この度の報告会の企画や報告書作成など全般にわたり、リーダーシップをとっていただいた直前アジア地域ユース代表の沖麻実さん、その他関係各位の皆様に、心より御礼を申し上げます。

★2015ＡＹＣ西日本区報告会　ユース報告者（写真左から　敬称略　カッコ内は推薦クラブ）

二之方良枝/桑原ケビン清治（西中国部・広島クラブ）、三木遥加（中西部・大阪セントラルクラブ）、吉村尚馬/畠平くるみ（中西部・大阪西クラブ）、中島敬之（京都部・京都ウィングクラブ）

◎YY（Y）フォーラム報告

瀬戸山陰部　１０月３日（土）　姫路ＹＭＣＡ太子教育キャンプ場

姫路 YMCA 太子教育キャンプ場は JR 姫路駅から車で 15 分のところにある自然に恵まれた野外施設です。姫路 YMCA は現在、野外活動に特化して活動をされているとのことで、瀬戸山陰部のＹＹＹフォーラムとして開催されたイベント「太子里山フェスティバル・ここは緑の宝島」では、部内５クラブのワイズメンや 14 名の姫路ユースリーダーが一堂に会し、姫路 YMCA のイベントの屋台骨として、地域の親子連れなど一般参加者の方々をホストする形で行われました。バームクーヘン作り、森のクラフト、餅つき体験、宝探しポイントラリー、アフリカモザンビークのアーティストのライブ鑑賞など多彩なプログラムが行われ、子供たちや保護者の方々の楽しそうな笑顔が印象的でした。

一般向けイベント終了後、野外のチャペルにおいて、YMCA スタッフ、ワイズメン、ユースリーダーが輪になって、心静かなお祈りの後、振り返りや交流の時間が持たれました。この日一日、同じ目標に向かって協力して行事を成し遂げられた姿を拝見し、ＹＹＹの目指す「協働」がまさにそこにあるのではと実感した次第でした。部内５クラブがまるで一つのクラブであるかのように「オール瀬戸山陰部」で結束し、姫路 YMCA を盛り立てようとしておられた姿に感銘を受け、心に残るフォーラムとなりました。ご尽力いただきました、姫路 YMCA 八杉光春総主事、せとうち YMCA 太田直宏総主事、岩崎圭三郎瀬戸山陰部部長、増田利郎Ｙサ・ユース事業主査をはじめとする瀬戸山陰部の皆様に心より感謝申し上げます。

◎西日本区次期役員研修会

10 月 24 日（土）～25（日）、ホテルクライトン新大阪にて、西日本区次期役員研修会が開催され、現主任として出席させていただきました。次期理事、次期事業主任、次期各部部長の方針発表や、様々なレクチャーが二日間にわたり行われ、ワイズメンズ活動について改めて学ばせていただく貴重な機会となりました。中でも西日本区連絡主事である山根一毅さんによる『ＹＭＣＡ理解』の講義の中の、ユースに関するお話は、私たちの YMCA サービス・ユース事業に特に関わりが深いと思うため、ご紹介させていただきます。

ユース・エンパワーメントは YMCA の DNA

エンパワーメントとは「権限移譲」「委ねる」の意味で、ユースが作っていく社会に対し、YMCA がどうやってエンパワーメントを実現し、目指していくのか？というお話でした。SPACE⇒TRANSFORMATION⇒INPACT　青年が集まる「場や機会」、YMCA で言えばキャンプリーダー会や専門学校などがあり、若者が参画することにより、内側から変わっていく（「個人の変革」）。そして、家族や地域、社会に影響力を与える存在となる（「周辺・社会へのインパクト」）。次の世代に社会を引き継ぐために、「雇用」「健康」「環境」「市民参画」に意識を注いでいくべきであるとのことでした。ワイズメンズクラブに当てはめると、ユースコンボケーションが、ユース・エンパワーメントを実現していくための活動の一つとなるのではないかと感じました。

◎各部部会、クラブ例会　出席報告

びわこ部会　１０月１０日（土）　休暇村近江八幡

琵琶湖畔、淡水湖で唯一の有人島「沖島」が眼前に望める素晴らしいロケーションで開催され、記念講演では元滋賀県知事で、びわこ成蹊スポーツ大学学長である嘉田由紀子氏よりお話をお聴きしました。アフリカでコップ一杯の水の大切さに気付かれたことから琵琶湖研究の道に進まれ、「もったいない」を掲げて政治家の世界へ。琵琶湖の水はすくって飲むことができるというお話が印象的でした。暮らしの中で湧き水や湖水を使いながら、水を汚さないルールが今に伝わっているのだそうです。穏やかなお天気の中、琵琶湖を望む芝生広場での懇親会は清々しく、開放的でした。

九州部会　１０月１７日（土）　阿蘇プラザホテル

広大なカルデラ内にある阿蘇プラザホテルで式典と懇親会が行われ、お隣の草原学習館で「阿蘇の草原を未来に」と題した講演会が行われました。阿蘇の草原は野焼きなど人々の努力で維持され、2万試合分のサッカーグラウンドが作れる広さとのことです。阿蘇には YMCA の4つの保育園、2つのキャンプ場があり、部会では園児による伝統の踊りや太鼓の披露がなされ、その素晴らしさは圧巻でした。YMCA 保育園の多くの保護者の方々がわが子の勇姿を熱心に見学されている姿が印象的でした。YMCA の当地における青少年育成に関する存在意義の一端を感じることができました。

瀬戸山陰部会　１０月３１日（土）　カトリック姫路教会

姫路城の真向かいにあるカトリック姫路教会で開催、ステンドグラスが美しい礼拝堂での厳かな式典の後、「姫路城の保存と活用」のテーマで、姫路市文化財課の方の講演会が行われました。築城以来の修理の歴史や、平成の大修理での苦労や新たな発見、今後の活用などについて貴重なお話を伺いました。兵庫県姫路市は全国でも有数の文化財の宝庫であり、姫路城は「白過ぎ城」と揶揄されるものの、来城者がもうすぐ 200 万人を突破する勢いとのことです。講演会終了後、教会隣のレトロな建物「ザビエル館」で行われた懇親会はアットホームで、和やかでした。